

ほし 彩星だより 第123号



若年性認知症家族会・彩星の会会報 令和5年5月号

〒160-0022 新宿区新宿1-9-4 中公ビル御苑グリーンハイツ605
TEL 03-5919-4185/FAX 03-6380-5100 E-mail:hoshinokai@beach.ocn.ne.jp



巻頭言

「だれもが安心して暮らせる 新宿型地域コミュニティの実現を目指して」

新宿区社会福祉協議会 常務理事・事務局長 関原陽子

新宿区社会福祉協議会(以下「新宿社協」)は、昭和28年6月に任意団体として誕生し、昭和37年6月には社会福祉法人となり、今年は70周年の節目となります。「地域福祉」の推進という使命を担う組織として、身近な相談窓口となり、地域に根ざした活動を通じて、誰にも知られ、親しまれる存在でありたいと願っています。

コロナ禍において、対面または集合による支援や活動ができないことにより、孤立感や孤独感が生まれました。また、コロナ特例貸付の申請受付には、これまで新宿社協とかかわりなかった人が、数多く相談に訪れました。新宿社協が優先して取り組むことは何かを、問われたときでもあります。

そこで、直接会わなくても対応できるしくみとして、Web会議ツールなどのオンラインでの活動を取り入れて、感染予防に最大限の注意を払い、支援や活動では、既存の対面・集合型を併用し、つながりの再構築に取り組んできました。自宅のできるボランティアとして「おたよりボランティア」の実施や、施設とボランティアのオンラインによる交流などは、新たな取組の一例です。

一方、2年6か月の間、申請を受け付けたコロナ特例貸付は、現在、償還(返済)が始まっています。返すことが困難な方は、手続により、償還免除や猶予となる場合があります。新宿社協が貸付の申請を受け付けた人には、お困りのことがあったら相談していただけるように、債権管理を担当する東京都社会福祉協議会が返済のお知らせを送付する時期に合わせて、相談のご案内をお送りしています。これは、貸付にと

どまらず、各家庭に潜在化している生活課題や困りごとに対し、一緒に考え、支援させていただきたいからです。

新宿社協は、現在、令和6年度を初年度とする「第5次経営計画」を策定しています。策定にかかわっている新宿社協を知る地域の皆さんから「新宿社協は多くの事業をやりすぎている。他の組織に任せたり、事業を統合したりするなどして、事業をスリム化したほうがよい」、「重点的に取り組みたいことは何か、コロナ禍の前と後で、どう変わったのか、職員が一つひとつ確認するところから始めてはどうか」といったご意見をいただいています。

70年の歴史を振り返ってみると、時代への即応性が求められてきたことがわかります。新しい制度が始まって、事業をどう展開するか、従前の事業と統合したり、経験を生かした方法により新たな事業を組み立てたりして、歴史を積み重ねてきています。

さて、私たち新宿社協は、この先をどう見据えて新宿型福祉コミュニティを実現していくのか・・・職員一人ひとりが創意工夫でやりたいことを実現できること、その楽しさを実感できること、やりがいを持ち続けられること、それこそが、新宿社協の強みでありたいと思っています。そして、かかわりを持った人・団体と少しずつつながりを広げ、「何かあったら、新宿社協にきいてみよう」「あなたの近くのつながるスポット＝ボランティアコーナーに行こう」を地域の合言葉にさせていただけるよう、地域福祉に全力で取り組んでまいります。

通常総会及び定例会報告

3月26日、新宿区立障害者福祉センターで、2023年彩星の会通常総会、定例会が開催されました。

今年は例年より桜の開花が早く、会場へ行くまでの道の両側には桜が満開でした。障害者福祉センターの入り口の桜も見事に咲き誇っていて、気持ちの良いお出迎えになりました。

定刻になり通常総会の開催です。羽鳥副代表の司会で始まり、議長に森代表が選出されました。

議長より議案書に沿って活動報告がありました。定例会、会報、相談業務の3本柱、そして、WEBサロン、家族旅行、百の家族の物語、会議・地域の家族会への参加等々が報告されました。彩星の会の活動は幅広く、若年性認知症のご本人と家族のためにとっても有意義で大きな支援になり、共に歩んでいることを感じました。

総会終了後、参加された方々との交流会です。多くの方が集まりましたので、3つのテーブルに分かれて懇談会が開かれました。各テーブルとも話が弾み、笑い声、感激の音が聞かれました。私が入ったテーブルは、介護家族3人と、ご本人、支援者のグループでした。それ

それぞれにお話しをして頂きました。共感することも多く、皆さんからのアドバイスも出ました。メモを取る方もいて参考になり役に立ったのではないかと感じました。1時間の懇談会はあっという間に終わり話し足りない方もいたのではないかと思います。とても充実した時間を過ごすことができました。次の5月の定例会での再会を願いながら終了しました。

(二次会)

定例会終了後、場所を早稲田駅前にある中華料理店で「二次会」です。14名の方が参加しました。これこそが、彩星の会。

皆で美味しい料理をつまみ、お酒を飲みかわす。介護をしている中ではなかなか外に出てお酒を飲むこともできませんが、ここは心を許し合える仲間たちの場所。日頃の悩みや今の自分を遠慮なく話せる場です。

本格的な中華料理を食べ、ビール、紹興酒、ジュースをリーズナブルに楽しみました。

席を移しながら皆さんと歓談です。介護は共通ですがこれまでの人生は様々です。明日への活力をいただきながらご家族の締めで楽しい時間が終わりました。

(三橋 良博)



2023年彩星の会総会議事報告

2023年3月26日午後1時から新宿区戸山1-2-2新宿区立障害者福祉センター二階会議室に於いて2023年 彩星の会通常総会が開催された。

司会の羽鳥彰紘から議長に森義弘を推薦したいとの提案があり満場一致で承認された。森義弘は議長席につき定足数について家族会員総数117名（117議決権）、本日の出席者12名（12議決権）、委任状提出数65通（65議決権）、合計77議決権があり117名の過半数59名を充たしているので今総会は有効に成立するとの説明があった。

続いて議長が 小澤副代表と羽鳥副代表を議事録署名人に指名し、両名の承諾を得たところ、総会出席者からも異議は出されず、両名が議事録署名人に選出された。

次いで下記の議案について説明があった。

第1号議案 2022年度活動報告の件

議長は別紙の議案書をもとに詳細に説明し挙手による議案の賛否を問うたところ全員賛成で第1号議案は可決承認された。

第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告の件

議長は羽鳥彰紘に説明を求め、羽鳥彰紘は別紙の議案書をもとに詳細に説明し、その後議長は挙手による議案の賛否を問うたところ賛成多数で第2号議案は可決承認された。

第3号議案 2023年度活動計画（案）の件

議長は別紙の議案書をもとに詳細に説明し挙手による議案の賛否を問うたところ全員賛成で第3号議案は可決承認された。

第4号議案 2023年度予算（案）の件

議長は羽鳥彰紘に説明を求め、羽鳥彰紘は別紙の議案書をもとに詳細に説明し、その後議長は挙手による議案の賛否を問うたところ全員賛成で第4号議案は可決承認された。

第5号議案 2023年度役員選出（案）の件

代表：森 義弘、副代表：小澤礼子、副代表・会計：羽鳥彰紘

世話人：伊藤直子、大野裕子、佐野光秀、土橋慈子、藤沼三郎、三橋良博、柳井明子 （アイウエオ順）

事務局：鈴木富美子、編集事務局：中村はるな

監事：中島由利子

顧問：宮永和夫、干場 功、比留間ちづ子、勝野とわ子、牧野史子、木舟雅子、

小野寺敦志、厚東知成（敬称略）

議長は別紙の議案書をもとに詳細に説明し挙手による議案の賛否を問うたところ全員賛成で第5号議案は可決承認された。

午後2時00分上記すべての議案が承認され総会は終了した。

2023年3月26日

以上この議事録が正確であることを証します。

議長 森 義弘

議事録署名人 小澤 礼子

議事録署名人 羽鳥 彰紘

シニア向け分譲住宅に引っ越して一年になります

田淵節子(元家族会員)

若年性認知症だった夫を亡くして6年になります。昨年12月に国立のシニア向け分譲住宅に江東区より移り住みました。丸一年になります。永代通りの車、自転車、平日のサラリーマンやマンション住まいの人々の多さや東西線の混雑ぶりから逃れてホットしています。

国立駅南口、一橋大学前の大通りは、春は桜並木で彩られ、冬は大きなクリスマスイルミネーションと旧駅舎でのコンサートもあって賑わいます。北口には228戸の我がマンション Duo Scene 国立(デュオセーヌはフランス語で自分らしく輝ける舞台)まで行くには便利な「ぶんバス」乗り場があり、運賃は100円です。バスを待つ間、たくさんあるベンチに座ったり、いろいろあるお店や花屋さんをのぞいたり、喫茶店でコーヒーを飲んだりできるので。私の大好きな駅になりました。

中央線や、都心に向かう東西線も、それほど混むこともなく助かっています。

都心の新築マンションの値上がりは驚くほどで、60平米の私の部屋はそれに比べればずっとお値打ち価格。おまけに大浴場、レストラン、シャトルバス、ビリヤードルーム、カラオケルーム、多目的ルーム、麻雀ルーム、ラウンジ、ゲストルーム等必要なものはすべてそろっています。看護、介護事業所まであり、コンシェルジュサービスが統括してくれるのです。安全、安心、快適と三拍子揃っています!

老人ホームとの大きな違いは自由が大幅にあるということです。人間関係で悩むことがなければ、寂しくはないし、話し相手もできます。各戸に台所、お風呂はありますが、レストランを利用すると「同じ釜の飯を食う仲間」、大浴場では「裸でのお付き合い」があるので、情報

交換もできるし、仲間意識も自然にできてきます。

アメリカに住む次男一家と暮らそうと、難しいと言われている永住権の再挑戦で、やっとのこと、2年2か月かかって許可を得ると、コロナ、ハイトクライム、家の高騰等があり、「お母さんの住んでいたころのアメリカとは違っていいよ」とまで言われていました。資金不足もあり、今では思い切って移住をあきらめてよかったと思っています。サンフランシスコ湾に面した高級老人ホームで最後の冒険を試みたいとの夢もかないませんでした。でも、後期高齢者の引っ越しは本当に大変なことだと身をもって知りました。「引っ越し経験」はありすぎるほどの私だから大丈夫と思っていたのですが、しばらくは「あら、私、認知症になったかしら」ととまどい、「でも、時間が経てば元にきっと戻る」と腹をくくっていました。それに頼もしいパートナーが手伝ってくれていたのです。その彼も10か月後には、私の近くに越してきてくれました。これで万全です。

朝はラジオ体操で目覚め、7時半にはレストランで、目の前の芝生、鳥、木々や行き交う人々を眺めて、季節の移ろいを感じながら、500円の朝食をとります。いつものメンバーと情報交換をする時間でもあります。犬の散歩をする顔見知りの方に手を振ったりして、一日が始まります。「私達、本当に恵まれているわね」と仲間と感謝しながら日々を過ごしています。私も喜寿になり、少しばかり“よれよれ”していますが、健康寿命を延ばすことが目的でつくられた新しいタイプのシニア向けの住宅で、新しい人生のスタートを切ることができたことを幸せに思います。(2023.1.1)

近況報告「お元気ですか」

アルツハイマーの夫が逝ってから早14年、あっという間に月日が経ってしまいました。私は1週間に1回の彩星の会事務所通い、娘の家の留守番週2回、自分の医者通いとそれなりに手帳の予定が毎月埋まっていました。

それが2年ほど前から私の長姉がアルツハイマーになり次女は夫の介護と自身の腰椎圧迫による要支援、3女は脳梗塞の後遺症による高次脳機能障害となり一人暮らしがしにくくなりました。

手帳に姉たちの病院付き添いと書くのが月3回増えましたが、年の離れた末妹の私はもう少し頑張ろうと思う今日この頃です。

(2023年2月) 小澤礼子

「百の家族の物語の感想」



続々よせられる読者の声
心理士の方から感想文が寄せられました

~~~~~  
どの手記もありのままの言葉で、生活の様子が書かれており、まっすぐ心に入ってくるように感じます。家族会の存在は、「一人ではない」と思わせてくれる副え木のようなものであることが、たくさんの手記から伝わって参りました。

苦しむ誰かの声を聞くことは、時に勇気のいることかもしれませんが、それでも、様々な体験が様々な形であり、あるところで同じ思いを持って日々生きている人がいると思えることは、力強いパワーをもたらしてくれるのだと思います。

素敵な手記をありがとうございます。(心理職 N.H.)

以前ボランティアで家族会に参加させていただいた経験があるため、読んでいて懐かしく感じることもありました。介護者にしか分からない感情や気持ちが、この手記には沢山綴られているのだと思います。

今もなお、家族会という存在を知らず、自宅に籠って介護されている家族の方も多いと思います。そういった方々に、この手記が渡っていくことを願っています。(心理職 M.S.)

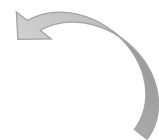
お申し込みは下記まで

hoshinokai@beach.ocn.ne.jp

電話 03-5919-4185 FAX 03-6380-5100

1冊 2,100円(1,980円+送料)。

2冊以上申し込みの場合送料は彩星の会で負担します。



お申込みメールフォーム

## ご本人の作品展#7 今村 敬一 様(その1)

病名：ピック病 診断時期：2004年(54才) 2016年死去。  
制作時期：2007年～2010年(ジョイントへ(※)通っていた時期)

奥様(今村香様)からのお話

もともと絵を描くことが趣味でした。診断され直ぐに退職となり時間が出来たので、仕事で訪れていた地の写真を見ながら沢山絵を描くようになりました。

主人にとっては絵を描くことで退職後の自分の価値を見出せていたと思います。

絵があったので色々な方とお知り合いになれ、お誘いも受け社会と繋がっている感が唯一持てた事柄だったと思います。



(ロンドン ウェストミンスター宮殿とテムズ川)

(※) ジョイント：彩星の会創設者の一人である比留間ちづ子先生が、若年性認知症本人の活動により地域共生の輪を作ることを目的に2007年開設。  
活動内容は公園清掃、障害者施設の文化祭、高齢者デ이의餅つき、地域のお祭りへの参加など。また習字・絵を生かした絵葉書セット・革製ケース・動物顔マグネット・石鹸デコパーシュなどの製品を創作、これを販売することで広く社会に繋がり若年性認知症の理解を深めていっている。  
2015年通所事業は終了したがジョイントの理念による活動は全国に広まっている。

5月の定例会は恒例の

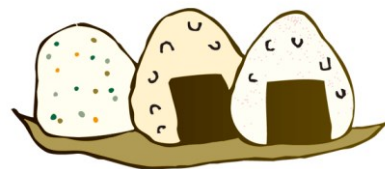
# 「新宿御苑散策」です！

～木陰でお弁当を食べて語り合しましょう～

日時： **5月28日**(日) 12:00集合

会場：「新宿御苑」新宿区内藤町1-1

集合場所：新宿御苑内「ユリノキ」(地図参照)



12時に間に合わない方でも3時くらいまでであればOK。

お友達や小さいお子さんも大歓迎です。

ユリノキの付近でオレンジ色のザンバイザーを被った世話人がお待ちしております。

(終了後2次会を予定しています(16:00頃)。場所：東北餃子房(新宿区新宿1-4-11。彩星の会事務所の斜め前。但し状況により中止の可能性あります)

入園料：500円。(65才以上250円) 障害者手帳をお持ちのご本人・介護者1名は無料です。

持ち物：お弁当、障がい者手帳、暑さ対策(帽子、飲み物)、敷物。

小雨決行(不明の場合の連絡先)

小澤：080-5033-8185

羽鳥：090-7396-5843



(会員ご家族の皆様へ)

事務所で「すまいるカフェ」 開店中です



(毎月第一土曜日 13:00~15:00) 次回 6月3日(土)、7月1日(土)



Web サロン  
開催のお知らせ

Zoom を使って

Web サロンを開催しています。

毎 週 火 曜 日 20:00 ~ 20:40

毎月第一 土 曜 日 20:00 ~ 20:40



パソコン・スマホから招待メールをクリックするだけで参加できます。  
毎回沢山の方が参加され情報交換しています。操作方法についてもお尋ねください。

### ・・・寄付のご報告・・・

【2023年2月~3月】峯尾生恵様、鴨治千鶴子様、上藺里津子様、糺田佳代子様、秋本倫子様、佐野房子様、中村敏子様、廣岡成子様、秋山郁子様、石井敏子様、菊池友里恵様、伊藤照美様、田中恵美様、伊藤雄子様、田中悠美子様、二見しづ子様、宮嶋光紀様、宮田清香様

2023 年度累計 323,752 円 (3月31日現在)

厚く御礼申し上げます! 彩星の会事務局

### 訃報

荒屋敷武雄様 (荒屋敷玲子様のご主人) (3月10日)

- ご相談・ご入会は彩星の会事務局までご連絡ください

【相談日】月・水・金 11:00~15:00

電話: 03-5919-4185 FAX: 03-6380-5100

E-mail: hoshinokai@beach.ocn.ne.jp HP: <http://www.hoshinokai.org>

- 年会費 (家族会員)5,000 円 (賛助会員)A5,000 円/B3,000 円/C10,000 円

- お申込み(ご入金)は下記振替口座宛てにメッセージを添えてお願いします。

郵便振替口座番号: 00170-7-463332

加入者名: 若年性認知症家族会・彩星の会



### 編集後記



特養に入所している妻の面会に行ってきました。タブレット面会からパーティー越しの面会、そしてようやく触れ合えることができるようになりました。施設、病院へ入所しているご本人を見守るご家族は辛い状況が続いています。新型コロナの感染症対策も緩和されてようやく落ち着きつつあります。一日も早く安心して会う事ができる日が来ることを期待して待っています。(M)